

---

## 日本人学習者のためのロシア語学習語彙の研究

堤 正典 / 小林 潔

ロシア語学習語彙について、学習者は日本語母語話者を想定して研究を行っている。この研究で課題としているのは、ふたつの事項である。

ひとつは、ロシア語学習のための学習語彙として何が適切であるかであり、これは学習語彙のリストの検討ということになる。学習者のレベルに応じて、表現能力や文法能力にふさわしい語彙を教材に盛り込まなければならない。例えば、初修者向けの学習教材に、中級・上級者向けの文法事項が関わる語彙を導入することは避けなければならない。ロシア語のように、文法事項に学習内容が多い言語においては、このような点は特に留意すべきである。表現についても同様である。初修者はより一般的で有用な表現から身に付けるべきであるから、それに用いられる語彙が学習されることになるように、それぞれの学習レベルにふさわしい学習語彙が存在する。ロシア語学習語彙リストにはТРКИ（外国語としてのロシア語検定試験）向けがあるが、ТРКИは留学生としてロシアに暮らして学ぶ学習者を想定しているものであるから、日本でロシア語を学ぶ日本人学習者にとって必ずしも最優先ではない語彙も含まれる。日本人学習者がロシア語を使用する状況にも様々あり、そのようなことも考慮する必要がある。また、そもそも基礎語彙の使用可能性の検証も必要である。

もうひとつの課題は多義語分析である。語の多くは多義語であり、個々の語がどのような多義性を有しているかは解明されているとは言い難い。多義性は中心的な語義と派生的・展開的語義がネットワークを形成していると考えられる。その際に、メタファーやメトニミーによる展開があることが分かっている。中心義では日本語とロシア語とで一致するとしても、展開義では一致するとは限らない。メタファーやメトニミーの展開は必ずしも一様ではない。したがって、ロシア語の学習語彙の個々がどのような多義ネットワークを形成しているか提示できれば、学習者にとっても、教師にとっても、その情報は有益である。

今年度の状況において、研究者各自の分析は徐々にではあるが進めている。ただし、問題も小さくはない。この研究ではぜひともロシア語ネイティブの研究者の協力が必要である。語彙の意味やその使用の詳細については、ネイティブ研究者の意見が大いに参考になる。しかし、現在の情勢はロシアにいるネイティブ研究者の協力を得ることを極めて難しくしている。それを克服する方策を検討しながら研究を進めている。